



# 第 55 回 愛媛形成外科研修会

## 抄 録 集

日 時 令和 7 年 12 月 6 日（土）17 時 00 分～

場 所 松山市民病院 永頼会館 2 階 多目的ホール

愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5

TEL : 089-943-1151 (代)

当番世話人

松山市民病院 形成外科 手塚 敬

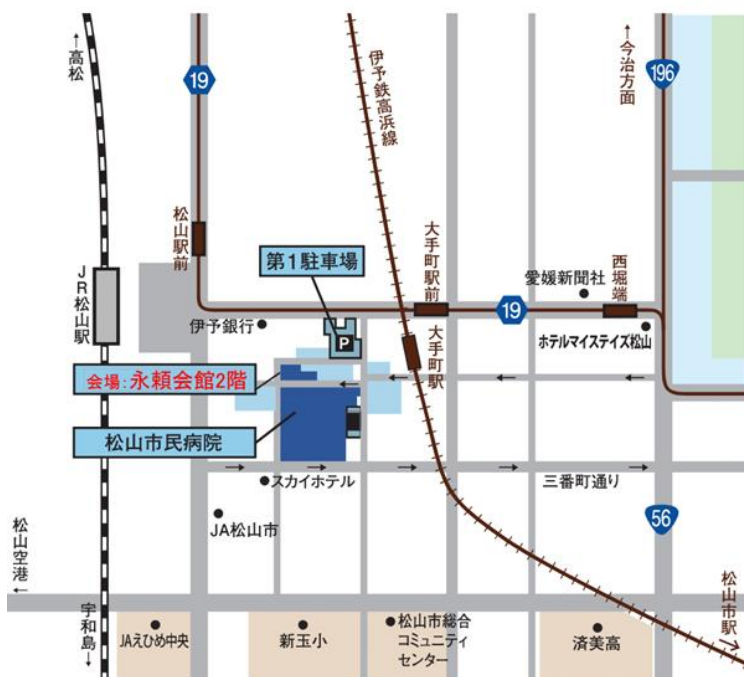
## 第 55 回 愛媛形成外科研修会

### 研修会について

1. 参加受付は、16時30分より会場で行います。
2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。  
 今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。  
 「領域講習」として受講される専門医の方は、受講料として 1,000 円を申し受けます。
3. 一般演題での発表時間は、一題あたり 5 分と 3 分、質疑応答は 3 分を予定しています。
4. PC は Windows 11、PowerPoint を使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で調整等が必要になる場合があります（当日は、USB メモリあるいは PC 本体をお持ちください）。
5. 当日、駐車場をご利用の方は、受付でお知らせください。無料券をお渡しいたします。
6. 永頼会館の入口は南側西寄りにございます。自由に入出館はできません。入口にスタッフが待機しておりますのでお声がけください。自販機は、会館の 1 階と 3 階にございます。

### 松山市民病院への交通アクセス

#### ◆病院までのアクセス方法



← 永頼会館

病院棟 →



永頼会館入口

## 会 歴

| 会 期    | 世 話 人                         | 会 場             | 日 時               | 参加者  |
|--------|-------------------------------|-----------------|-------------------|------|
| 第 1 回  | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 松山成人病センター       | 平成 10 年 7 月 4 日   | 15 名 |
| 第 2 回  | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 愛媛県医師会研修所       | 平成 10 年 12 月 5 日  | 17 名 |
| 第 3 回  | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 松山成人病センター       | 平成 11 年 6 月 19 日  | 20 名 |
| 第 4 回  | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 11 年 11 月 27 日 | 19 名 |
| 第 5 回  | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 12 年 6 月 24 日  | 17 名 |
| 第 6 回  | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 12 年 12 月 9 日  | 20 名 |
| 第 7 回  | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 13 年 6 月 23 日  | 23 名 |
| 第 8 回  | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 13 年 12 月 8 日  | 23 名 |
| 第 9 回  | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 14 年 6 月 8 日   | 27 名 |
| 第 10 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 14 年 12 月 14 日 | 27 名 |
| 第 11 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 15 年 6 月 28 日  | 25 名 |
| 第 12 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 15 年 12 月 13 日 | 25 名 |
| 第 13 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 16 年 6 月 26 日  | 26 名 |
| 第 14 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 16 年 12 月 4 日  | 29 名 |
| 第 15 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 17 年 6 月 18 日  | 31 名 |
| 第 16 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>会議室 | 平成 17 年 12 月 10 日 | 35 名 |
| 第 17 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>研修室 | 平成 18 年 6 月 24 日  | 31 名 |
| 第 18 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>研修室 | 平成 18 年 12 月 9 日  | 26 名 |
| 第 19 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>研修室 | 平成 19 年 6 月 16 日  | 37 名 |
| 第 20 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>研修室 | 平成 19 年 12 月 15 日 | 30 名 |

| 会 期    | 世 話 人                         | 会 場                      | 日 時               | 参加者  |
|--------|-------------------------------|--------------------------|-------------------|------|
| 第 21 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 20 年 6 月 14 日  | 30 名 |
| 第 22 回 | 庄野 佳孝<br>(松山赤十字病院 形成外科)       | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 20 年 12 月 6 日  | 30 名 |
| 第 23 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 21 年 6 月 27 日  | 32 名 |
| 第 24 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 21 年 12 月 12 日 | 28 名 |
| 第 25 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班) | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 22 年 6 月 19 日  | 34 名 |
| 第 26 回 | 田中 伸二<br>(石川病院 形成外科)          | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 22 年 12 月 11 日 | 30 名 |
| 第 27 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 23 年 6 月 18 日  | 31 名 |
| 第 28 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 四国がんセンター<br>研修室          | 平成 23 年 11 月 26 日 | 25 名 |
| 第 29 回 | 庄野 佳孝<br>(松山赤十字病院 形成外科)       | えひめ共済会館<br>4 階 末広        | 平成 24 年 6 月 23 日  | 34 名 |
| 第 30 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部附属病院 形成外科)   | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室    | 平成 24 年 12 月 1 日  | 26 名 |
| 第 31 回 | 田中 伸二<br>(HITO 病院 形成外科)       | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室    | 平成 25 年 6 月 22 日  | 36 名 |
| 第 32 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | にぎたつ会館<br>2 階 楓の間        | 平成 25 年 11 月 30 日 | 30 名 |
| 第 33 回 | 安井 史明<br>(住友別子病院 形成外科)        | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室    | 平成 26 年 6 月 21 日  | 32 名 |
| 第 34 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 愛媛県立中央病院<br>新館カンファレンス会議室 | 平成 26 年 11 月 29 日 | 32 名 |
| 第 35 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部附属病院 形成外科)   | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室    | 平成 27 年 6 月 27 日  | 36 名 |
| 第 36 回 | 田中 伸二<br>(HITO 病院 形成外科)       | HITO 病院<br>3 階 大会議室      | 平成 27 年 11 月 21 日 | 27 名 |
| 第 37 回 | 手塚 敬<br>(松山市民病院 形成外科)         | 松山市民病院<br>2 階多目的ホール      | 平成 28 年 6 月 11 日  | 32 名 |
| 第 38 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)       | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室    | 平成 28 年 12 月 10 日 | 30 名 |
| 第 39 回 | 小林 一夫<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)      | 愛媛県立中央病院<br>3 階中会議室①②    | 平成 29 年 6 月 24 日  | 36 名 |
| 第 40 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部附属病院 形成外科)   | 四国がんセンター<br>本館 3 階研修室    | 平成 29 年 12 月 9 日  | 32 名 |

| 会 期    | 世 話 人                       | 会 場                    | 日 時              | 参加者  |
|--------|-----------------------------|------------------------|------------------|------|
| 第 41 回 | 庄野 佳孝<br>(松山赤十字病院 形成外科)     | 松山赤十字病院<br>4 階多目的ホール   | 平成 30 年 6 月 9 日  | 27 名 |
| 第 42 回 | 田中 伸二<br>(HITO 病院 形成外科)     | HITO 病院<br>3 階 大会議室    | 平成 30 年 12 月 1 日 | 28 名 |
| 第 43 回 | 河村 進<br>(四国がんセンター 形成外科)     | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室  | 令和元年 6 月 22 日    | 31 名 |
| 第 44 回 | 中川 浩志<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)    | 愛媛県立中央病院<br>管理棟 1 階 講堂 | 令和元年 12 月 7 日    | 37 名 |
| 第 45 回 | 安井 史明<br>(住友別子病院 形成外科)      | オンライン開催                | 令和 2 年 12 月 12 日 | 28 名 |
| 第 46 回 | 中岡 啓喜<br>(愛媛大学医学部附属病院 形成外科) | オンライン開催                | 令和 3 年 6 月 12 日  | 35 名 |
| 第 47 回 | 手塚 敬<br>(松山市民病院 形成外科)       | 松山市民病院<br>2 階 多目的ホール   | 令和 3 年 12 月 4 日  | 23 名 |
| 第 48 回 | 庄野 佳孝<br>(松山赤十字病院 形成外科)     | 松山赤十字病院<br>4 階多目的ホール   | 令和 4 年 6 月 4 日   | 32 名 |
| 第 49 回 | 田中 伸二<br>(HITO 病院 形成外科)     | 四国がんセンター<br>新棟 3 階研修室  | 令和 4 年 11 月 19 日 | 31 名 |
| 第 50 回 | 山下 昌宏<br>(四国がんセンター 形成外科)    | ANA クラウンプラザ<br>ホテル松山   | 令和 5 年 6 月 10 日  | 30 名 |
| 第 51 回 | 中川 浩志<br>(愛媛県立中央病院 形成外科)    | 愛媛県立中央病院<br>管理棟 1 階 講堂 | 令和 5 年 11 月 25 日 | 24 名 |
| 第 52 回 | 野澤 竜太<br>(南松山病院 形成外科)       | 南松山病院<br>3 階 研修室       | 令和 6 年 6 月 22 日  | 24 名 |
| 第 53 回 | 三宅 啓介<br>(済生会松山病院 形成外科)     | 済生会松山病院<br>救急棟 3 階大会議室 | 令和 6 年 11 月 16 日 | 19 名 |
| 第 54 回 | 森 秀樹<br>(愛媛大学医学部附属病院 形成外科)  | えひめ共済会館<br>4 階 豊明      | 令和 7 年 6 月 22 日  | 25 名 |

## プ ロ グ ラ ム

### Section I (17:00~17:45)

座長:松山市民病院 形成外科 川野 貴大 先生

1. 当初は粉瘤を疑った Sister Mary Joseph 結節の1例 (3分)

HITO 病院 形成外科 山中 健生 他

2. 眉毛部に発生した MAC(Microcystic adnexal carcinoma)の1例 (3分)

松山赤十字病院 形成外科 村上 真吾

3. PBI が150を越える熱傷患者の治療について (5分)

市立宇和島病院 形成外科 眞田 紗代子 他

4. 乳房再建での組織拡張器挿入後感染の1例 (5分)

四国がんセンター 形成外科 山下 昌宏

5. 皮膚移植が必要になった石灰化上皮腫の1例 (5分)

松山市民病院 形成外科 川野 貴大 他

6. 段階的手術で治療した重度眼瞼痙攣、開瞼失行の1例 (5分)

愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科 西 建剛 他

### Section II (17:45~18:25)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 先生

7. 下腿の絞扼輪症候群の3例 (5分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹 他

8. 遊離空腸移植後に生じた下咽頭がん術後咽頭皮膚瘻の3例 (5分)

愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科 石野 憲太郎 他

9. ホスレボドパ/ホスカルビドパ持続皮下注による皮膚膿瘍をきたした2例 (5分)

済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介 他

10. 拡大母指掌側前進皮弁による母指指尖切断症例の治療経験 (5分)

済生会松山病院 形成外科 船木 杏奈 他

11. 当院における血管柄付き遊離肩甲骨を用いた再建 (5分)

広島大学病院 形成外科 永松 将吾 他

休憩 (15分)

総会 (18:40~18:50)

### 特別講演 (18:50~19:50)

座長:松山市民病院 形成外科 手塚 敬 先生

「怖くないマイクロサージャリー:マイクロを再建のオプションに取り入れよう!」

講師:浜松医科大学医学部形成外科学講座 教授 中川 雅裕 先生

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:45)

座長:松山市民病院 形成外科 川野 貴大 先生

1. 当初は粉瘤を疑った Sister Mary Joseph 結節の1例

社会医療法人石川会 HITO 病院 形成外科

○山中 健生、米田 武史、中西 秀樹

(3 分)

臍部腫瘍は粉瘤、臍ヘルニアなど良性疾患が多い。前医でエコー検査のうえ粉瘤の疑いで摘出を希望し、紹介となった40代女性。触診や当院でのエコー検査でも粉瘤の印象を持ったが、淡紫色の色調が気になり、さらに問診を行い、腹部のエコーと造影CT撮像を行ったところ、卵巣癌術後の再発、皮膚と腹腔内への転移が認められた。若干の文献的考察を加えて共有させていただきます。

2. 眉毛部に発生した MAC(Microcystic adnexal carcinoma)の1例

松山赤十字病院 形成外科

○村上 真吾

(3 分)

65歳女性。左眉毛部に軽度発赤を有し、疼痛や掻痒感を伴わない 17×11mm 大の硬いドーム状皮膚腫瘍を認め、良性腫瘍と考え切除した。良性を想定していたため術前に画像検査は行わなかったが、病理検査で microcystic adnexal carcinoma と診断されたため追加切除を行った。腫瘍は皮下組織、眼輪筋内へ浸潤していたが脈管侵襲や深部への浸潤は認めなかった。若干の文献的考察を加えて報告する。

### 3. PBI が 150 を越える熱傷患者の治療について

市立宇和島病院 形成外科<sup>1)</sup>、市立宇和島病院 皮膚科<sup>2)</sup>、愛媛大学医学部附属病院 形成外科<sup>3)</sup>

○真田 紗代子<sup>1)</sup>、浅野 遥奈<sup>1)</sup>、片山 新介<sup>2)</sup>、岩田 麻里<sup>2)</sup>、薬師寺 直喜<sup>2)</sup>、森 秀樹<sup>3)</sup>

(5 分)

100歳、女性。ADLは自立、既往歴なし。仏壇の蠟燭が引火して頭部と両手両足を除く 54% TBSA の熱傷受傷。2度 (DDB)6%、3度 48%、BI 51、PBI 151 であった。予後不良と予測し、非挿管で輸液管理のみ行ったが全身状態が比較的安定してきたため手術を行った。初期対応の振り返りや今後の治療方針についてご意見を伺いたい。

### 4. 乳房再建での組織拡張器挿入後感染の1例

四国がんセンター 形成外科

○山下 昌宏

(5 分)

症例は42歳女性。乳房全摘後組織拡張器を挿入した。術後17日目で発熱をきたし術後19日目で抜去入替を行なった。感染での対応について若干の知見を含めて報告する。

5. 皮膚移植が必要になった石灰化上皮腫の1例

松山市民病院 形成外科

○川野 貴大、手塚 敬、上村 由美子

(5 分)

7歳男児、左下腿後面の石灰化上皮腫を疑い、局所麻酔下での摘出が可能となる年齢まで経過観察としていた。腫瘍増大、中央部自壊を認め再診。全身麻酔下での摘出を計画したが、感冒により延期となった。その間に自壊部の拡大を認め、結果的に全身麻酔下に腫瘍切除と皮膚移植を行った。若干の考察を含め報告する。

6. 段階的手術で治療した重度眼瞼痙攣、開瞼失行の1例

愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科

○西 建剛、中川 浩志、石野 憲太郎、岡田 將誉

(5 分)

症例は68歳男性。眼瞼痙攣に対し近隣眼科医により10年間にわたってボツリヌストキシン治療を受け、開瞼失行の状態で脳神経外科より紹介となった。羞明や眼球乾燥の訴えはなく、口などに不随意運動も見られなかったため Meige 症候群は否定的であった。

初回挙筋前転&ADM手術、2回目眉毛下皮膚・眼輪筋・皺眉筋・眉毛下制筋合併切除、3回目下眼瞼眼輪筋切除&LERs 前転を行って、ようやく安定して開瞼が得られるようになったので報告する。

## Section II (17:45~18:25)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 村上 達郎 先生

## 7. 下腿の絞扼輪症候群の3例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○森 秀樹、戸澤 麻美、村上 達郎、泉本 真美子

(5 分)

下腿の絞扼輪症候群3例を経験した。1例は下腿骨折を伴い、2例は中枢神経系疾患(ダンディー・ウーカー症候群、二分脊椎)を併発していた。いずれも皮膚および皮下組織の輪状陥凹を認め、2回に分けて Multiple Z-plasty を施行した。術後、全例で歩行機能に問題はなかったが、2例で脚長差を認めた。段階的形成術により良好な形態的改善を得た。

## 8. 遊離空腸移植後に生じた下咽頭がん術後咽頭皮膚瘻の3例

愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科

○石野 憲太郎、中川 浩志、西 建剛、岡田 將誉

(5 分)

下咽頭再建における遊離空腸移植では、術後合併症として瘻孔形成は10%前後と報告されている。

当科で行った遊離空腸移植後にそれぞれ発生原因が異なると思われる咽頭皮膚瘻を生じた患者2名3症例について報告する。

症例 1:68歳男性。下咽頭がんCRT後再発。局所感染によると思われる移植空腸の部分壊死から生じた咽頭皮膚瘻。症例 2~3:75歳男性。下咽頭がんCRT後再発。異なる時期に物理的要因による吻合部離開で生じた咽頭皮膚瘻。

## 9. ホスレボドパ/ホスカルビドパ持続皮下注による皮膚膿瘍をきたした2例

済生会松山病院 形成外科

○三宅 啓介、船木 杏奈

(5 分)

ホスレボドパ/ホスカルビドパ持続皮下注は進行期のパーキンソン患者に対して、24 時間持続皮下投与を行う薬剤として2023年7月に本邦で発売された。症状の日中変動を改善する新薬として報告される一方で、皮膚反応と呼ばれる局所の炎症反応が高率で起こる。我々は注入部位に膿瘍を認め、切開を必要とした2例を経験した。感染を起こしていない症例とともに提示する。原因や解決策に関して、皆様の意見を頂戴したい。

## 10. 拡大母指掌側前進皮弁による母指指尖切断症例の治療経験

済生会松山病院 形成外科

○船木 杏奈、三宅 啓介

(5 分)

54歳男性。工作中に500Kgのコンテナが左母指の上に落下し、当院救急搬送された。左母指は石川 subzone I の指尖切断であった。同日、composite graft を施行したが、壊死した。受傷後3週で拡大母指掌側前進皮弁を施行した。拡大母指掌側前進皮弁は、母指指尖切断症例において機能・整容の両面で有用な再建法である。

11. 当院における血管柄付き遊離肩甲骨を用いた再建

広島大学病院 形成外科

○永松 将吾、佐々木 彩乃、藤岡 弓朗、藤田 明日香、呑村 顕、岡崎 由真、大畠 公貴、龍治 明宏  
(5 分)

頭頸部の硬性再建には、同時挙上が可能で、薄い皮弁と血流が良く加工の容易な長管骨が採取出来る血管柄付き遊離腓骨皮弁が頻用されている。

当院では近年、肩甲骨角枝(angular branch)を栄養血管とする遊離肩甲骨弁と広背筋皮弁を用いた再建を行う機会が増えている。血管柄付き遊離肩甲骨弁の利点、欠点およびトラブル、これまで行っている工夫につき紹介する。

休憩 (18:25～18:40)

総会 (18:40～18:50)

1. 次回研修会の日程

2. その他

特別講演(18:50~19:50)

座長:松山市民病院 形成外科 手塚 敬 先生

「怖くないマイクロサージャリー:マイクロを再建のオプションに取り入れよう!」

講師:浜松医科大学医学部形成外科学講座 教授

中川 雅裕 先生

マイクロサージャリーは「難しい」「敷居が高い」と捉えられがちである。しかし、考え方はシンプルであり、再建における有用な選択肢となり得る。失敗が怖いと思われるマイクロであるが、今回は“怖くないマイクロ”をテーマに、若手形成外科医に向けて技術習得の入り口と、マイクロに対する思考の転換について説明する。顕微鏡下の最初の一針が、再建の可能性を広げる契機となることを期待する。

## 略 歴

- 1991 年 愛媛大学医学部医学科 卒業(平成 3 年卒 13 期生)  
東京大学 形成外科 入局
- 1992 年 群馬県立がんセンター 頭頸部外科 医師
- 1993 年 東京大学 形成外科 医員
- 1994 年 自治医科大学 形成外科 レジデント 臨床助手(現・臨床助教)
- 1997 年 東京大学大学院博士課程 入学
- 2001 年 東京大学大学院博士課程 修了  
埼玉医科大学 形成外科 助手(現・助教)
- 2002 年 埼玉医科大学 形成外科 講師
- 2002 年 静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科 部長
- 2020 年 浜松医科大学医学部附属病院形成外科 診療科長 特任教授
- 2024 年 浜松医科大学医学部形成外科学講座 教授

## 所属学会

- 日本形成外科学会 専門医・領域指導医  
再建・マイクロサージャリー分野指導医  
皮膚腫瘍外科分野指導医  
レーザー分野指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本創傷外科学会 専門医  
日本形成外科学会 評議員  
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 理事  
日本皮膚外科学会 理事  
日本形成外科手術手技学会 理事  
日本頭頸部癌学会 理事  
日本マイクロサージャリー学会 理事  
日本皮膚悪性腫瘍学会 評議員  
日本創傷外科学会 評議員